

【ユニット】 疾病の予防と対策

【ユニットディレクター】

UD：亀井 美登里（社会医学）

UD 補佐：太田 晶子（社会医学）

【一般的な目標】

公衆衛生・予防医学の概念を理解し、その方法を身につけ、公衆衛生の現状を理解し、問題点を把握する。さらに将来医師として公衆衛生の向上、増進活動を実践するために必要な能力、その中で起こる問題を解決するための能力を身につける。

全人的な視点、地域の視点、人生の視点、社会の視点からのアプローチを理解し、個人と社会のウェルビーイングを実現する。

【具体的な目標】

1. 公衆衛生・予防医学の意義を説明できる。
2. 保健統計、人口統計を理解し、公衆衛生活動の推進に役立てることができる。
3. 公衆衛生活動、保健医療行政の実際について述べることができる。
4. 保健衛生水準の現状を把握する方法、制度について説明できる。
5. 保健衛生水準の現状を把握し、問題点を指摘することができる。
6. 主要疾病に対する予防方法（一次、二次、三次予防）と公衆衛生施策を具体的に説明できる。
7. 保健・医療・福祉に関する社会資源の現状と問題点を説明できる。
8. 社会保障、保健医療制度、介護保険制度、社会福祉制度の概要を述べることができる。
9. 公衆衛生活動におけるチームワークの重要性を認識し医師の役割を果たすことができる。
10. 地域保健・医療・福祉に関する資料を解析し、地域で行われている健康管理等の現状を把握することができる。
11. 地域保健・医療・福祉を推進するための問題点を明らかにし、それを解決するための技術、洞察力を身につける。
12. 地域で発生した種々の健康問題に対し、医師として適切に対応する能力を身につける。

【学習方法】

公衆衛生の考え方を理解し、方法を身につけ、公衆衛生の現状と課題を把握する。公衆衛生の制度や疾病対策の理念や方法を理解し、疾病予防、健康課題の解決に向けて考察する。

シラバスに記載された各講義の内容について、講義資料、教科書、参考書等を用いて、各自予習・復習する。知識を整理・体系化するとともに、それを表現、活用できるようにする。教科書（シラバスの予習項目に示す部分）で予習してから講義に参加することが理解を助ける。

*なお、公衆衛生・予防医学の基礎的方法論として、3年生で学んだ疫学を復習・理解しておくこと
講義内小テストは当該講義内に解説を行う。

【評価方法】

定期試験を行う。定期試験の形式：記述式+MCQ 形式。ユニットの成績は定期試験の成績で評価する。再試験を1回行う。

（なお、場合によっては成績評価を行うにあたりレポート等を考慮することがある。）

【教科書】

1. 公衆衛生がみえる 2022-2023, 医療情報科学研究所 メディックメディア

【参考書】

1. 国民衛生の動向 2022/2023, 一般財団法人 厚生労働統計協会
2. New 予防医学・公衆衛生学改訂第4版, 岸玲子, 南江堂
3. シンプル衛生公衆衛生学, 鈴木 庄亮, 南江堂
4. 標準公衆衛生・社会医学, 岡崎勲, 医学書院
5. 公衆衛生マニュアル, 柳川 洋, 南江堂
6. TEXT 公衆衛生・予防医学, 大野良之, 南山堂
7. 衛生行政大要 改訂第24版, 日本公衆衛生協会

※教科書1.「公衆衛生がみえる」を基本とし、さらに参考書1.「国民衛生の動向」を用いて勉強することが望ましい。「国民衛生の動向」は毎年8月末に発刊されるので、最新年のものを購入するのがよい。講義シラバスの予習・復習項目に各教科書・参考書の該当章・頁を示している。なお、記載した該当章・頁番号はシラバス作成時点のものであり、教科書の改訂にともなってこれらは異なる場合がある。

【授業予定表】

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
予防01	04月09日	(火)	3	疾病予防と公衆衛生	亀井 (社会医学)
予防02	04月12日	(金)	4	公衆衛生学特論	三浦 (社会医学)
予防03	05月10日	(金)	6	公衆衛生学特論：医療政策・公衆衛生政策	平子 (社会医学)
予防04	04月23日	(火)	3	人口・保健統計 (1) 人口静態統計	太田 (社会医学)
予防05	04月25日	(木)	4	人口・保健統計 (2) 人口動態統計	太田 (社会医学)
予防06	05月07日	(火)	3	人口・保健統計 (3) 生命表と保健・衛生統計	太田 (社会医学)
予防07	05月09日	(木)	4	医師法と関連法規	亀井 (社会医学)
予防08	05月14日	(火)	4	疾病予防と健康管理	太田 (社会医学)
予防09	05月17日	(金)	4	生活習慣病と健康増進	小田 (社会医学)
予防10	05月27日	(月)	5	がん対策とがん登録	大木 (社会医学)
予防11	05月28日	(火)	3	感染症の疫学と予防 (1)：感染症対策	太田 (社会医学)
予防12	05月31日	(金)	2	感染症の疫学と予防 (2)：注目すべき感染症	太田 (社会医学)
予防13	06月05日	(水)	4	地域保健：保健所の業務と役割	川南 (県保健医療部)
予防14	06月11日	(火)	4	地域医療：医療体制と医療計画	亀井 (社会医学)
予防15	06月11日	(火)	5	社会保障制度と医療経済	亀井 (社会医学)
予防16	06月12日	(水)	4	母子保健 (1)	高橋 (社会医学)
予防17	06月12日	(水)	5	母子保健 (2)、学校保健	高橋 (社会医学)
予防18	06月13日	(木)	4	プライマリ・ケア：在宅医療と地域包括ケア	太田 (秀) (社会医学)
予防19	06月14日	(金)	3	障害者福祉政策とその現実、ならびに福祉と医療の関連、障害者支援	丸木 (育心会)
予防20	06月20日	(木)	1	介護保険制度と高齢者のケアマネジメント	亀井 (社会医学)

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
予防21	06月20日	(木)	6	高齢者保健・医療・介護	亀井（社会医学）

【ユニット】

疾病の予防と対策

【ユニットディレクター】

亀井美登里（社会医学）

【コンピテンス】

1. 社会人および医師としての基本姿勢
9. 地域および国際社会の医療

【マイルストーン】

- 1-(5). 医療資源の有効活用について自分の考え方を確立している。
- 9-(2). 医療経済や地域における様々な保健医療福祉介護の制度と資源を理解し、地域や社会の要請について概説できる。
- 9-(3). 保健医療における国際的課題を理解し、医療における国際貢献の意義を概説できる。

【評価方法】

- 1-(5). 定期試験（筆記試験）
- 9-(2). 定期試験（筆記試験）
- 9-(3). 定期試験（筆記試験）

【補習および再評価の方法】

- 1-(5). 再試験（筆記試験）
- 9-(2). 再試験（筆記試験）
- 9-(3). 再試験（筆記試験）